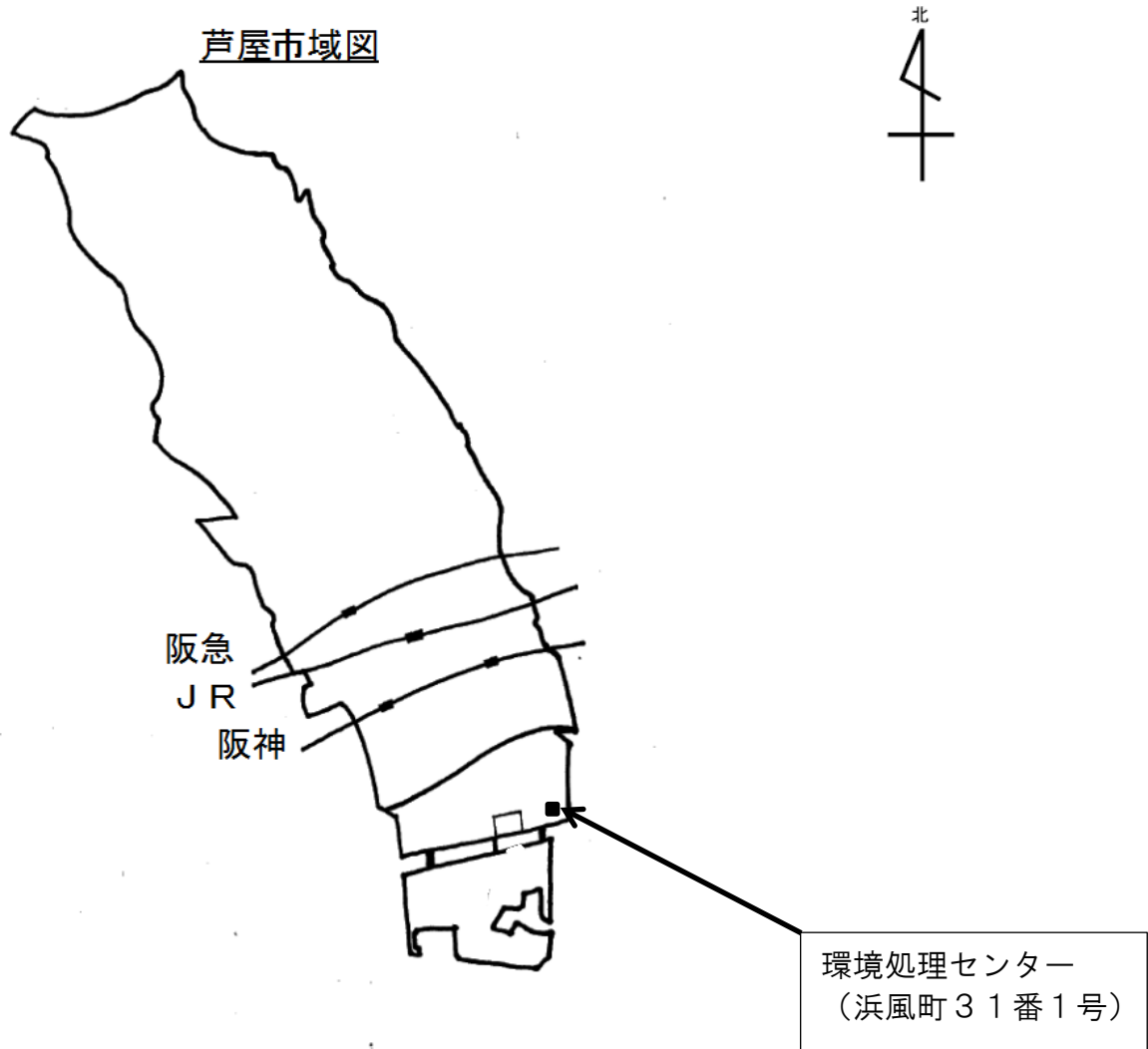


1. 市の概要

芦屋市は、兵庫県の南東部、大阪と神戸のほぼ中間に位置しており、面積約 18.57 k m²、東西約 2.5km、南北約 9.6km と南北に細長い市域となっています。



人口	男	43,420人
	女	52,320人
	計	95,740人
世帯数		44,548世帯
面積		18.57km ²

平成29年4月1日現在

2. 人口とごみ排出量の推移

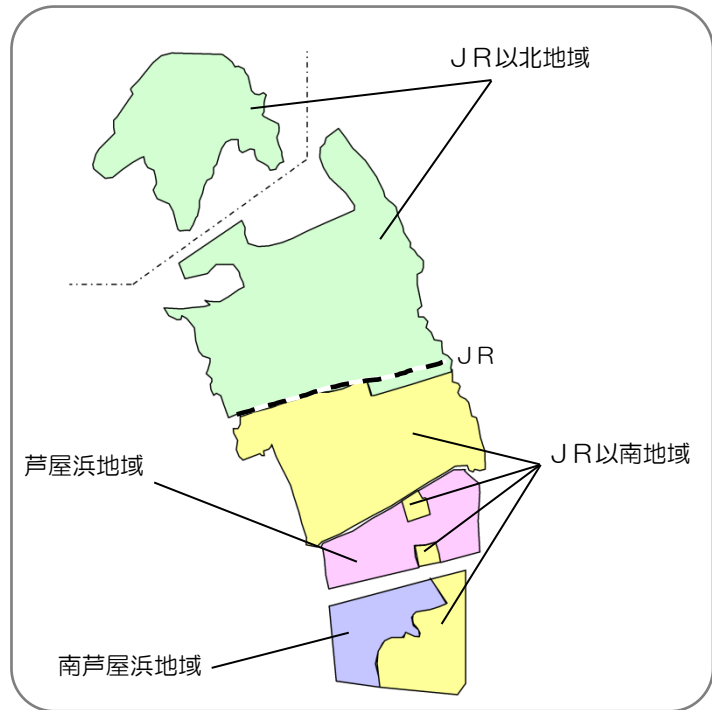
単位:t/年

項目\年度	H25	H26	H27	
人口(人)	96,659	96,897	96,616	
生活系ごみ	26,858	26,403	26,274	
燃やすごみ	19,486	19,281	19,177	
燃やさないごみ	資源ごみ	2,379	2,281	2,296
	紙資源	1,288	1,237	1,162
	ペットボトル	144	141	177
	缶	146	136	134
	ビン	801	767	823
その他燃やさないごみ	656	636	650	
粗大ごみ	264	231	257	
集団回収	4,073	3,974	3,894	
事業系ごみ	10,530	9,886	9,132	
燃やすごみ	10,368	9,732	8,991	
燃やさないごみ	162	154	141	
ごみ総排出量	37,388	36,289	35,406	
一人一日当たり (g)	1,060	1,026	1,001	

出典：芦屋市ごみ処理基本計画

3. 分別・収集区分及び収集形態

分別区分	対象品目	収集頻度	排出方法		
燃やすごみ	生ごみ類, 紙くず, 紙おむつ, 革製品, プラスチック類, 木くず(長さ50cm以内, 直径10cm以内)	週2回	ごみ袋(指定なし)		
燃やさないごみ	段ボール	段ボール	月1・2回	紐で縛って	
	紙資源	雑誌・チラシ等	雑誌・チラシその他紙類	月1回	紐で縛って
	新聞紙	新聞紙	月1回	紐で縛って	
	紙パック	紙パック	月1回	紐で縛って	
	ペットボトル	ペットボトルマークが表示されているペットボトルのみ。(キャップやラベルははずして)	月2・3回	ごみ袋(指定なし)	
	缶	スチール缶, アルミ缶	月1回	ごみ袋(指定なし)	
	ビン	ジュースのビン, 調味料のビン 等	月1・2回	ごみ袋(指定なし)	
その他燃やさないごみ	ガラス類, 鉄類, 陶器類, 小型家電, その他(乾電池類)	月2回	ごみ袋(指定なし)		
粗大ごみ	家具, 寝具, じゅうたん, 自転車 等	申し込み・予約制	処理券を貼って		
一時多量ごみ	引越しごみ 等(市が収集)	申し込み・予約制	—		
植木剪定ごみ	植木剪定ごみ(市が収集)	申し込み・予約制	紐で束ねて		



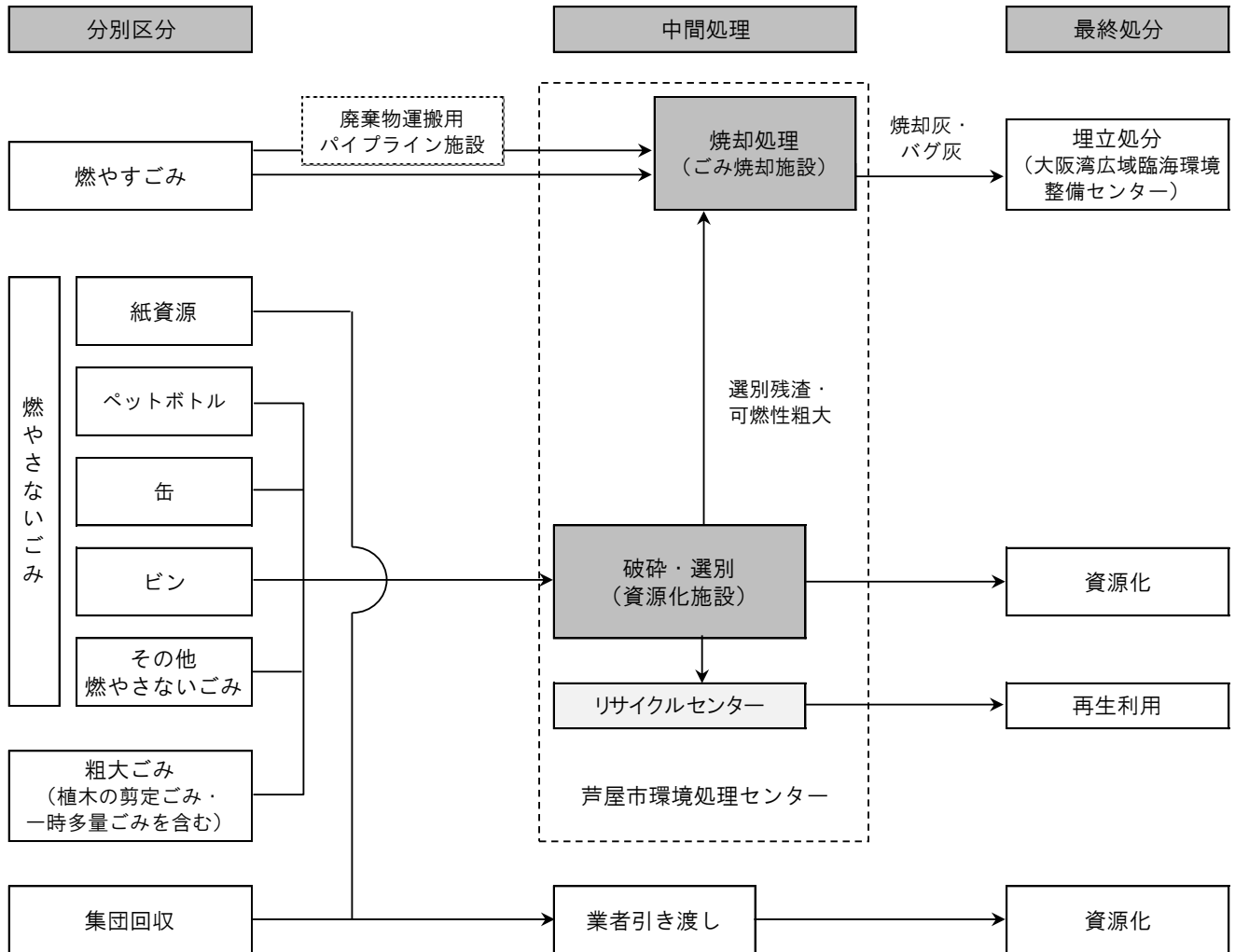
収集・運搬体制（生活系ごみ）

区分\区域		JR以北地域	JR以南地域	芦屋浜地域	南芦屋浜地域		
燃やすごみ		委託 (ステーション)	直営 (ステーション)	パイプライン収集 直営・委託	パイプライン収集 ・直営・委託		
燃やさないごみ	紙資源			委託 (ステーション)	直営 (ステーション)	直営・委託 (ステーション)	直営・委託 (ステーション)
	段ボール						
	雑誌・チラシ等						
	新聞紙						
	紙パック						
	ペットボトル						
缶							
ビン							
その他燃やさないごみ							
粗大ごみ		直営 (ステーション)	直営 (ステーション)	直営 (ステーション)	直営 (ステーション)		
一時多量ごみ		直営 (戸別収集)	直営 (戸別収集)	直営 (戸別収集)	直営 (戸別収集)		
植木剪定ごみ		直営 (戸別収集)	直営 (戸別収集)	直営 (戸別収集)	直営 (戸別収集)		

※ 芦屋浜地域及び南芦屋浜の一部地域の「燃やさないごみ」については、収集形態が異なるため、表のように記述しています。

4. ごみ処理体制

ア ごみ処理の流れ



【芦屋市環境処理センター（芦屋市浜風町 31 番 1 号）】

敷地面積 23,697.53 m²

イ ごみ焼却施設

ごみ焼却施設	稼働開始	平成 8 年 3 月
	施設規模	230 t / 日 (115 t / 日 × 2 炉)
	炉形式	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式)
	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 及び鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 1 階, 地上 4 階建
	建築面積	2,839.21m ²
	延床面積	6,386.91m ²
	余熱利用	温水発生器

ウ 資源化施設

設備・機器	対象ごみ	処理能力	稼働開始	運転
カン圧縮設備	カン	10 t / 8 h	昭和 52 年 7 月 1 日	委託
切断設備	不燃性粗大ごみ	—	平成 2 年 11 月 1 日	
破碎設備	不燃性粗大ごみ	5~8 t / 5 h	平成 4 年 12 月 1 日	
	可燃性粗大ごみ	10 t / 5 h	平成 10 年 3 月 31 日	
ペットボトル減容設備	ペットボトル	300kg / h	平成 12 年 7 月 1 日	

エ 廃棄物運搬用パイプライン施設（広域化検討対象外）

項目	概要
施設名称	芦屋市廃棄物運搬用パイプライン施設
所在地	芦屋市浜風・新浜・高浜・若葉・緑・潮見・陽光・海洋・南浜町地内
対象エリア	芦屋浜地域：125ha ， 南芦屋浜地域：125.5ha の一部
系統	芦屋浜地域：2 系統 ， 南芦屋浜地域：2 系統
設計収集量	29.0 t / 日
稼働開始	芦屋浜地域：昭和 54 年 4 月 ， 南芦屋浜地域：平成 10 年 8 月
更新設備	パイプラインセンター機器棟：平成 10 年 8 月

オ リサイクルセンター

竣工年月	昭和 52 年
建築面積	272.16m ²
延床面積	544.32m ²
構造	鉄筋コンクリート造

5 ごみ処理経費

	年度	H25	H26	H27	出典等
1	人口(人)	96,659	96,897	96,616	ごみ処理事業概要(環境処理センター)
2	世帯数(世帯)	43,876	44,184	44,224	ごみ処理事業概要(環境処理センター)
3	歳出(千円)	1,747,495	1,422,162	1,456,721	一般廃棄物実態調査(環境省)
4	歳入(千円)	164,028	159,780	149,427	一般廃棄物実態調査(環境省)
5	ごみ総排出量(トン)	37,388	36,289	35,406	芦屋市ごみ処理基本計画
6	1トン当たり原価(円)	46,739	39,190	41,143	3÷5

6 施設整備計画(芦屋市ごみ処理基本計画抜粋)

施設名		供用開始	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	～														
既存施設	焼却施設		延命化済										再延命化																						
	115t/日×2炉	平成8年3月	33年間稼働																																
	資源化施設												44年間稼働																						
	不燃物処理施設	昭和52年7月等											21年間稼働																						
新施設案	(ア) 単独処理の場合																																		
	計画・調査・設計・工事																																		
	焼却施設	平成42年予定																																	
	資源化施設	平成34年予定																																	
(イ) 広域処理の場合	供用開始予定は、(ア)単独処理の場合と概ね同じ時期と考えられますが、時期も含めて近隣市との検討及び協議のため、詳細な時期は表示していません。																																		

以上